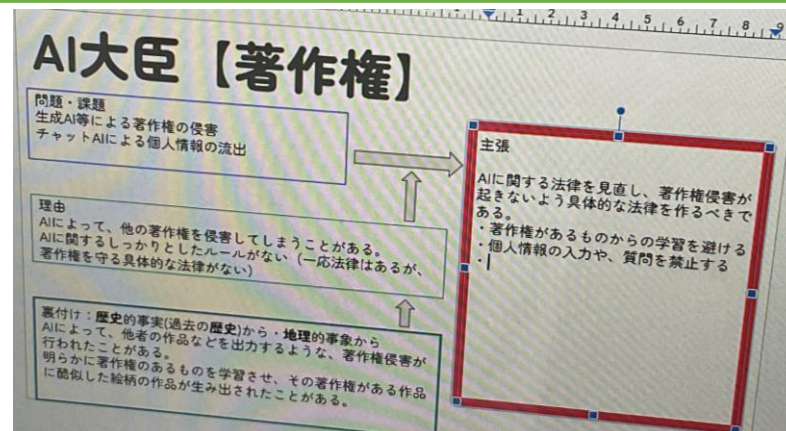


リーディングDXスクール事業【実践事例】

箕輪町立箕輪中学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【取組内容】①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（社会科 授業公開：6月）



◆ドライブ 14:49 6月28日(金)

く ふりかえりシート3-6

ち へ

	F	G	H
1	本日の授業における今後の学習への改善点を挙げてみよう。	本日の授業で得た学びや感じたことを表現しよう。本日学んだキーワードを2つ以上使用すること	質問
2	男女差別のことがばばだったからもう少し他の問題にも触れていきたい。		
3			
4			
5	主張の所をもう少し簡潔に書きたい	なんで人間は差別するようになったのかな... (自分がされたら幸くないのかな...?)	
6	プレゼンをちゃんとできるようにする。		
7	もう少しちゃんと考えられればよかった	AIの発展、SDGsの達成の2つが今のJapanに大切だと思った	
8			
9	「世界」に進出するために、しっかり自分なりにまとめられました		
10	北朝鮮のことをやりすぎたので差別についてもやりたい。	日朝平和宣言があったことを初めて知った。差別を完全になくすのは難しいなと思った。	
11	もう少し教科書を使いたい		
12			
13	教科書を使えばよかった！		
14			
15	特になし	SDGs目標達成頑張ろう！	
16	がんばった 歴史の教科書を持ってくるべきだった	産業革命は全てを解決する	
17	多く文字を書いて小さくなって見づらかったからもっときれいにスライドをまとめたい		
18	特に梨	地震が	
19	緊急地震速報の音を覚えたい	地震が	
20			
21	地理の教科書などを使って、裏付けなどをしっかり考えたい		
22			
23	戦争をなくすための戦争をしようとしていた	工作船や不審船が領海に入ってきたらひとまず沈めてから考える	
24			
25	調べたことを具体的に言えるようにしたい		
26			
27		箕輪中学校教師	
28	し、次に教科書などをもっと効率よく使って、過去の工夫でも取り入れることができそうなことを考えたいです	日本は戦争ができない、なのにそれを作ったアメリカは戦争ができる。なんでん	
29	政策 もっと見やすくスライドを作りたい		
30			
31	旧ソビエト社会主義共和国連邦のことしか書いていなかったこと	友達と話し合った結果、竹島を旧ソビエト社会主義共和国連邦に返ってその代わり北方領土をあげることに	
32	主張の内容をもっと具体的に調べられたらよかった。		
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
70			
71			
72			
73			
74			
75			
76			
77			
78			
79			
80			
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
90			
91			
92			
93			
94			
95			
96			
97			
98			
99			
100			

授業者の個人的な研究テーマ

『思考の言語化を促す教材・教具、支援の工夫』

Googleスライドを用いて、考えを表現したり、共有したりした。生徒は、教科書、資料集、インターネットから該当する情報を精査し、スライドにまとめていった。教師は適宜、個人やグループに対して、声かけを行った。

【成果】

★個別最適な学びの場面

まとめるものはGoogleスライドだったが、調べる物自体は教科書、資料集、インターネット、友との共有などあり、学習方法は多岐にわたっていた。（本時では指導の個別化が多くみられた。）

★協働的な学びの場面

Googleスライドを用いることで、グループ内はもちろん、他のグループで同じような内容を検討している友とも共有することができていた。また、友とスライドを見合ったり、他のスライドを参考にしたりしている生徒もいた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

箕輪町立箕輪中学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【取組内容】①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（社会科 授業公開：12月）

学習問題：18世紀に入って行われた改革は当時の人々にとって成功と言えるのだろうか？

学習課題：江戸時代を生きていた様々な身分や立場の人の状況に立って政策を評価しよう。

う。
う。）
自分の選んだ立場→「武士」

享保の改革（1716～）



田沼の政治（1772～）



寛政の改革（1787～）



手立てについて

→自分が選択した立場によって、3つの政策を評価していた。ICTを用いることで、一人だけではなく、色々な立場との意見の交流が生まれるように工夫した。

★個別最適な学びの場面

武士・町人・百姓という3つの立場を生徒自身が選択できるようにした。立場によって、それぞれの政策に対して、評価する視点を与えることで、メリットやデメリットを自分なりに深められるようにした。

★協働的な学びの場面

クラス全員が入って操作できるようなICTのホワイトボードツールを活用し、画像を動かすことで、自分なりの考えをまとめた。その様子はクラス全体の生徒が見られる状態になっていたため、離れた席の生徒同士が授業の後半で、クロームブックを見ながら、直接意見を交わしている様子も見られた。（右下の2枚の画像）

諸改革では、どのような政策を行ったのだろうか？

18世紀の江戸時代にはなぜ改革が必要だったのか	身分	享保の改革	田沼の政治	寛政の改革
成長するため	まちびと	武士や百姓などの幅広い身分に対しての政策がたくさんあった。	お金について重視した	経済的に苦しい武士を救った
百姓が一揆を起こしていたり、ききんが起きたり、江戸時代の良くない状況を変えるため。	百姓	武士の収入の年貢を増やすために新田開発を行ってたくさん稼いだ。参勤交代の負担を減らすために、武士が上米の制を行った。庶民の意見を取り入れるために目安箱を設置した。	武士がお金を使ったやり取りをスムーズにするために新たな通貨を発行した。	百姓が、ききんがおきても米を収め続けられるように倉を作った。経済的に苦しい武士たちを助けるために借金取り消しをした。
町人から見て、税金とかを払う必要があったのが不満だったたり、ききんが起きてしまえば収入源の商品作物とかも育たなくなる	町人	年貢を増やすために新田開発を行ったり、公事方御定書を出し裁判時に適正な罪が与えられるようにした。庶民の声を聞くために目安箱の設置も行った。	南鐐二朱銀を発行しお金の価値を統一し、やり取りをスムーズにした上、金の収入に力を入れ米と金の収入をあわせたときに黒字になるようにした。株仲間の奨励をし、税金を収めさせたり海産物の輸出に力を入れた。	借金帳消しを行い、経済的に苦しい武士を救った。朱子学以外の学問を禁止し、江戸時代からの規律を見直したり人足寄場を作り、軽犯罪者の更生をさせた
飢きんや天災、一揆の発生などで百姓が減り、年貢米も減っていた。百姓の中で身分差が広がっていき、身分の支配が崩れそうになったり、悪い状況が続いたから。	武士	武士は年貢が増えて嬉しい。町人は目安箱で収入を増やすために新田開発や商品作物の栽培が行われていた。刑の基準を定めた「公事方御定書」を設定し、目安箱の設置や実学の奨励など、百姓や町人にも配慮した政治が行われた。武士→収入が増えて嬉しい。町人→	年貢米以外の収入を増やすため、海産物の輸出、株仲間から税の徴収、金の収入を増やすなど、武士向けの政治が行われた。賄賂なども続出し批判される歌も詠まれた。武士→収入が増えて嬉しい。町人→株仲間が増えて嬉し	御家人・旗本の借金を帳消しにしたり、朱子学を広め上下関係をはっきりとさせ武士を優遇していたが、即座に備えた倉の設置など百姓にも配慮した政策が取られた。武士→地位が保証されて嬉しい。町人→金さえ渡せば



リーディングDXスクール事業【実践事例】

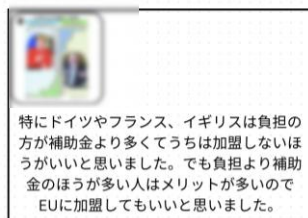
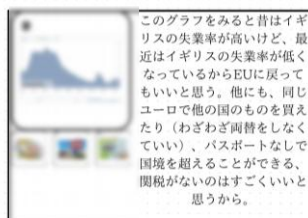
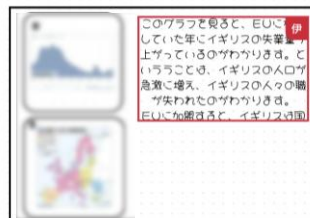
箕輪町立箕輪中学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【取組内容】 ②情報活用能力の育成（社会科 授業公開：10月）

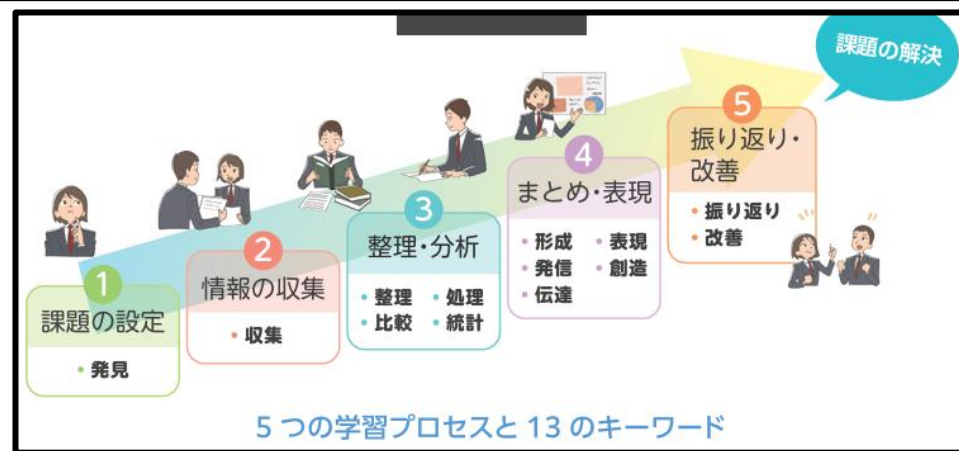
ヨーロッパ

イギリスは再びEUに加わるべきか

根拠となる資料をコピーして、自分の意見を明らかにしよう。



授業の構想及び実践に資する学習のプロセスに情報活用能力を位置づけた指導指標を開発し、それを「情報活用能力ベーシック」と名づけました。「情報活用能力ベーシック」は、学習指導要領をはじめ、文部科学省が公開している関連文書を対象に、「情報活用能力ベーシック」に適合するキーワードを抜き出し、整理したものです。（抜粋、引用）



「情報活用能力を育む授業づくりガイドブック 中学校編」より引用
（日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）より発行）

ホワイトボードツールを使い、考えをまとめることに対して生徒自身は熱心に取り組んでいた。「教科としての学び」を深める時間と「情報活用能力の育成」という両面を意識しながら授業を行った。

本時は、上記の5つの学習プロセスの【2情報の収集、3整理・分析】が中心となっていた。

自分の考えの根拠となるものを見つけ出したり、ICT機器を用いて、伝わりやすいように画像や文章でまとめようとしていた。1年生ということもあり、ICTツールに慣れることも目的の一つであったため、教科としての学びの部分が浅くなってしまったところもある。ここまでまとめられる生徒だったからこそ、自分の考えをもった状態で「議論すること」で、より考えを深めることができたと思われる。ICT機器を使いながら教科の特色を伸ばすことは、全体としての課題であることが分かった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

箕輪町立箕輪中学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【取組内容】③校務DX（Google Chatを校務の中で活用していく事例）

R R6箕輪中 授業研修chat



生まれていきます。
立場の違う生徒同士で、意見交流が生まれていました。
読み取った資料をもとに議論しています。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1RpsCODM8AYn7JZhoTuxJPyNmVNPEVYQsa8hyrgQ_gledl/edit
生徒の振り返りシートになります。



、動画等アップありがとうございます。
授業公開お疲れ様でした。

グループでの話し合いやロールプレイをすることで、生き生きと主体的に学習を進める様子が伝わって来ました。やはり生徒同士が「対話する」ことで、どんどん学びが深まってくことを、改めて学ばせて頂きました。
ありがとうございました。



2月6日, 15:38

動画だと、写真だけでは伝わらない会話がわかってよいものですね。

の生徒たちとの会話が楽しそうでいい表情です。
教師も楽しみながら授業に参加するのが最高だと思っています。

私が校内をまわっていたら、他の先生がの教材で同じように進め方おられる授業がありました。（間違えたらすみません）教科内でこの進め方がよいのかを検証していこうとする姿がよいと感じました。（ICT支援員

R R6箕輪中教職員

本日の日報です。

日報 1月10日（金）	
本日の予定・共有	14日 の予定・共有
【日課】日課	【日課】日課
【日課】部活動・X 屋敷・X 001~	【日課】部活動・O 屋敷・X
【日課】部活動 8:15~8:25	【日課】部活動 8:15~8:25
【日課】生活 8:25~8:35	【日課】生活 8:25~8:35
【日課】1:31	【日課】1:31
【日課】2:32	【日課】2:32

PDF 1.10日報.pdf

おはようございます。本日の生徒総会の計画です。（職員会に出したもの）お世話になります。よろしくお願いいたします。



【校務での利用】

- ・教務主任から、PDF化されている日報をチャットに送信してもらっている。手元で日課を確認できる。
- ・生徒会では、多くの資料をGoogleドキュメントを使って作成している。職員会や連絡会などでは、そのデータをチャットに共有することで、その場での確認ができるようにしている。
- ・職員用のGoogleチャットで日常的な連絡等に活用している。「だれでも」「どこでも」使えることができていて感じている。

これらの活用によって、ペーパーレス化、即時的な情報共有がかなり進んできているように感じている。職員全体として、繰り返し使うことで、日常の中に浸透していくと考えられる。まずは全体で使っていくことが大切であると感じている。

多くは、研究授業等の際に、授業を参観できなかった先生にも様子が伝わるように画像や映像を投稿している。研究授業の際は、指導案やワークシート、生徒が使うGoogle Workspaceなども共有している。参観された先生方は、チャットにメッセージを残すように声がけをしている。そういったことで、乾燥の共有もチャット内で行えている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

箕輪町立箕輪中学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【取組内容】③校務DX（出欠確認や出席停止等の確認をGIGA環境で確認している事例）



本日のコロナとインフルの状況

ツール、ヘルプなどの検索 (Alt + Q)

ホーム 挿入 共有 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 自動化 ヘルプ 描画

2024/3/30

コロナ罹患者 ※5日間かつ

★は発症日 ★は発症日に登校

	IN	IO	IP	IQ	IR	IS	IT	IU	IV	IW	IX	IY	IZ	JA	JB
1月3日															
1月4日															
1月5日															
1月6日															
1月7日															
1月8日															
1月9日															
1月10日															
1月11日															
1月12日															
1月13日															
1月14日															
1月15日															
1月16日															
1月17日															

校務DXの紹介

●校務支援システムの活用

→欠席連絡、学年通信、学級通信の送信、部活でも活用中
このことによって、朝の電話当番の業務をなくすることができた。また、全校・学年・学級等の範囲での急な連絡も即時届けられるようになった。

●Googleスプレッドシート

→感染症罹患者の把握、身体測定の入力等
どこにいても職員ならば、感染症の罹患者を確認することができるようになっている。また、以前まで身体計測の数値は手書きのものを打ち込みなおしていた。それをスプレッドシートを利用することで、計測終了後に入力も完了することができた。今までは、紙に書いて、後日入力していたが、その手間がなくなり、業務軽減につながっている。

大変だと思う業務を見つけ出し、どうしたら軽減させていけるかを工夫していくことで、働き方改革への一歩を踏み出していけると思う。